

3 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	春口	参加 メンバー	CL:吉田 SL:松浦 春口
		報告日	3/12 (水)		
山域	八ヶ岳連峰	山行日	14年3月01(土)～		
山名	硫黄岳		14年3月02(日)		

山行目的	雪山トレーニング	コースタイム (天候: 天気図記号)	
配布先	ルート図 (地図を見て正確に)		03/01 (土) 曇り
集会:12			03/02 (日) 雪 (曇り)
山行: 1		06:00 刈谷	04:00 起床
リーダー		10:00 八ヶ岳山荘 P	05:30 赤岳鉱泉発
原紙: 集会担当者		11:00 一本 (やまのこ村)	06:45 一本
		12:00 一本	08:20 一本 (大同心付近)
		13:30 赤岳鉱泉	09:00 赤岳鉱泉着
		17:00 夕食	09:50 赤岳鉱泉発
		19:30 就寝	11:00 赤岳山荘
			12:30 もみの湯
			13:00 昼食
			17:20 刈谷

2.5 万分の 1 地図 :

〈山行報告〉

松浦 PRADO に 3 人乗り、吉田 CL 運転で刈谷発。恵那峡 SA で朝食を摂った後、松浦 SL にドライバーチェンジし、約 2 時間で八ヶ岳山荘 P 着。山行準備 (共同装備分配等) を行い、赤岳鉱泉へ向けて出発。平坦でよく踏み固められた道 (北沢) を歩くこと約 3h。自身はザックの腰ベルトをしていなかった為に、かなり疲れてしまったが、なんとか赤岳鉱泉着。(先輩方は余裕の表情) アイスキャンディを拝みつつ、テント設営。V5 エスペースの中で早速乾杯し、談笑をした後に夕食。今回、参加出来なかった山本さんに準備して頂いた、キムチ鍋と α 米を堪能。その後、自身は酔いつぶれてそのまま就寝。

翌朝 4:00 起床、キムチラーメンを頂いた後、シュラフや共同装備をテントに置き軽装で出発。前日までに積もった雪道を、交代でラッセルして進んだ。自身は久しぶりのラッセルであったが、体力を消耗しないよう、足場を踏み固め一歩ずつ慎重に、雪下にトレースがありそうな道を進んだ。登り始めて約 3h。休憩中に別のパーティと出会い、会話する中、硫黄岳へのルートが異なっていたことに気付く!

現在地は、大同心付近。この先に進むことは危険との判断から、急遽道を引き返した。赤岳鉱泉へ帰る途中、硫黄岳の方に向いた道標を発見!朝は薄暗く、雪が降り続いていたために気付かず。。今回硫黄岳へは辿り着けなかったが、トレーニングや今後の課題発見等、良い山行となった。また、いつか挑戦しようと思います。

〈リーダー所見早朝の暗がりと前夜からの降雪により、硫黄岳ルートへの入口に気づかず、大同心へのトレースに乗ってしまいました。事前の調査をしっかりと行っていれば間違えなかったかもしれないと反省した。硫黄岳には登頂できなかったが、冬山のトレーニングと楽しさは味わえたように思う。またこのメンバーで八ヶ岳を楽しみたい。



確認
(リーダー)

吉
14/03/09
田

作成
(報告者)

春
14/03/08
口